

2022 年度第 1 回 6 月東大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定用語不使用は，指定用語 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。
- 4) 「 A 」が「 B 」→1点 は、「 A 」と「 B 」の両方の要素があれば1点加点する。

第1問 (20点)

設問A

(1) 1点 (完答)

A－遊牧 B－焼畑農業 C－林業

(2) 3点

短い夏にコケ類や地衣類が育つため、冬も雪をかき分けてそれらを食べるトナカイを飼育し、乳と肉を食料、皮を衣服などにする。(2行)

【加点ポイント】

★(1)で「A－遊牧」を正解していることが加点の前提

- ① (植生) コケ類 (蘚苔類) / 地衣類 / ツンドラ (土) →1点
- ② (気候) 夏が短い / 冬は平均気温が氷点下になる / 夏は①が育つ / 雪の下でも①が餌になる →1点
- ③ (産業の概要) トナカイ (カリブー) を飼育する / トナカイの遊牧をする / トナカイの乳と肉を食料、皮を衣服などにする →1点

(3) 3点

高温多雨で地中の養分の分解と流失が速やかに進むため、土壌は痩せた赤色土となる。ゆえに木や草を焼き、その灰を肥料とする。(2行)

【加点ポイント】

★(1)で「B－焼畑農業」を正解していることが加点の前提

- ① (土壌の特徴) 痩せている / 肥沃でない →1点
- ② (①の理由) 「高温多雨 / 高温多湿」で「地中の養分の分解が早い / 地中の養分が流出する / 溶脱 (作用)」 →1点
- ③ (焼畑農業の特徴) 木や草を焼きその灰を肥料とする →1点

(4) 3点

湿潤地域と乾燥地域の境界に近い草の豊富な草原であったため、乾季に枯れた草の腐植が蓄積した、肥沃な黒土地帯となっている。(2行)

【加点ポイント】

- ① (気候) 湿潤地域と乾燥地域の境界／半乾燥地域／ステップ気候 →1点
- ② (植生) 草原／ステップ／プレーリー →1点
- ③ (土壌) 「乾季に枯れた草の腐植が蓄積する／枯れた草の養分の流出が少ない」ので「肥沃」 →1点

設問B

(1) 3点 ※ [指定語句] 建物と農地 調理 2つ全て 下線付きで使用

再生した樹木は、Xでは暴風と砂、Yでは暴風と高波から建物と農地を守る。また、調理などの日用の薪炭材を持続的に供給する。(2行)

【加点ポイント】

- ① (植林のメリット) 樹木が建物と農地を守る →1点
- ② (①について) 風／砂／波 から守る →1点
- ③ (植林のメリット) 調理用の薪炭材になる／調理の際、木材を加熱に使用する →1点

(2) 4点 ※ [指定語句] 古期造山帯 光合成 2つ全て 下線付きで使用

古期造山帯の無いブラジルは石炭が乏しく、天然木の木炭が製鉄に用いられた。植林による木炭の生産は、天然木の伐採と違い光合成で二酸化炭素を吸収する森林が減らず、地球温暖化対策となる。(3行)

【加点ポイント】

- ① (木炭製鉄の理由) 石炭が乏しい／石炭を産出しない →1点
- ② (①の理由) 古期造山帯が無い →1点
- ③ (気候変動への影響) 温暖化対策となる →1点
- ④ (③の理由) 光合成により二酸化炭素を吸収する森林が減らない
／植林(ユーカリ)の生育中に光合成で二酸化炭素を吸収する →1点

(3) 3点

落葉広葉樹は建材としては針葉樹に劣り、その森林が減少したが、落ち葉の腐植土は河川を通して海の養殖場に養分を供給するため。(2行)

【加点ポイント】

- ① (経済的相違点) 落葉広葉樹は建材としては針葉樹に劣る
／落葉広葉樹は硬木で加工しにくい →1点
- ② (植林の理由) 落ち葉が腐葉土になる／落ち葉が土壌に養分を与える →1点
- ③ (②と養殖の関係) 河川が②の養分を海に運ぶ →1点 (※「河川」の役割を明記で加点する)

第2問 (20点)

設問A

(1) 1点 (完答)

ア－ASEAN イ－OPEC ウ－EU

(2) 2点

インドネシアが石油輸出の減少で脱退と再加盟を繰り返した。(1行)

【加点ポイント】

★(1)で「イ－OPEC」を正解していることが加点の前提

① (影響を与えた国) インドネシア →1点

② (①が) 脱退と再加盟を繰り返した／脱退したり加盟したりした
／脱退時に人口が減り加盟時に人口が増えた →1点

(※「脱退した」のみ、「加盟した」のみ、では加点しない)

(3) 3点

ア・ウは域内の経済統合を進める地域統合で、文化・社会交流も促進するが、イは原油輸出の利潤を確保する資源カルテルである。(2行)

【加点ポイント】

★(1)を全て正解していることが加点の前提で、①②の合計で3点まで

① (ア・ウは) 地域統合である／域内の経済統合を進める →2点

② (イは) 原油(石油)の資源カルテルである／原油の利潤確保を目的とする／加盟国の利益を守る →2点

(4) 4点

発展途上国で構成されるアとイは、従来の加盟国の人口爆発により加盟国人口が継続的に増えたが、先進国で構成されるウは、域内の人口増加率は低い、加盟国数の増加で加盟国人口が増加した。(3行)

【加点ポイント】

★(1)を全て正解していることが加点の前提

① (アとイは) 加盟国の人口増加による／加盟国の数は変わっていない →1点

② (アとイは) 発展途上国で構成される／人口が増加している国が多い →1点

③ (ウは) 加盟国が増加した／加盟国が増加した年に人口増加がみられる →1点

④ (ウは) 先進国で構成される／人口が停滞している国が多い →1点

(5) 2点

冷戦の終結後に、対立関係にあった東側の国々が新規加盟した。(1行)

【加点ポイント】

★(1)を全て正解していることが加点の前提

① (理由) 東側の国々が新規加盟した／社会主義国(旧社会主義国)が加盟した →1点

② (①の背景) 冷戦の終結/東西対立の終結/ソ連の崩壊/ベルリンの壁崩壊 →1 点

設問 B

(1) 1 点 (完答)

A-タイ D-ポーランド

(2) 1 点

国際分業が進展し、生産拠点間で中間財の移動が必要になった。(1 行)

【加点ポイント】

① 国際分業の進展/生産工程が複数の国にまたがっている
/域内で作られた部品が低賃金の国で組み立てられる →1 点

※(3)(4)共通 語群 (各問 2 つ以上 下線付きで使用)

一次産品	関税	完成品	後発	資本
集約的	製造業	賃金	途上	付加価値

(3) 3 点 ※ 上記語群から 2 つ以上 下線付きで使用すること (1 つ以下の使用は -1 点)

後発発展途上国で資本や技術が未発達の B は、製造業が発達する A に対して一次産品を輸出し、完成品を輸入しているから。(2 行)

【加点ポイント】

★(1)で「A-タイ」を正解していることが加点の前提

- ① (貿易の特徴) B は A から 完成品 (工業製品/最終財/中間財や最終財) の 輸入 が多い
/ A は B へ 完成品 (工業製品/最終財/中間財や最終財) の 輸出 が多い →1 点
- ② (貿易の特徴) B は A へ 一次産品 (素材) を 輸出 する
/ A は B から 一次産品 (素材) を 輸入 する →1 点
- ③ (①②の理由) B は 後発発展途上国 (発展途上国/途上国) である
/ A は B より 製造業 が発達している / A には 外国資本 が投下されている
/ B は 資本 や 技術 が未発達である / B には 外国資本 が少ない →1 点

(4) 3 点 ※ 上記語群から 2 つ以上 下線付きで使用すること (1 つ以下の使用は -1 点)

互いに 関税 を免除する両国では、E で生産した 高付加価値 の部品を F に輸出し、低賃金 労働力で組立てた 完成品 を E に再輸出する。(2 行)

【加点ポイント】

- ① (貿易の特徴) E は部品 (中間財) を輸出し、F から 完成品 (最終財) を輸入する
/ F は部品 (中間財) を輸入し、E へ 完成品 (最終財) を輸出する →1 点
- ② (①について) E から輸出される部品は 高付加価値 である
/ F は 低賃金 である / F では 労働集約的 工業が立地している →1 点
- ③ (①の背景) 両国間では 関税 が免除される / NAFTA により 無関税 であった →1 点

第3問 (20点)

設問A

(1) 1点 (完答)

アー新潟 イー富山 ウー山形 エー福井

(2) 2点

若年層の流出による高齢化が極端に進み、人口の減少が著しい。(1行)

【加点ポイント】(※(1)の可否は問わない)

① (人口構造) 高齢化(少子高齢化)の進展/若年層の(県外)流出 →1点

② (人口増減) 人口の減少が著しい/人口が減少した →1点

(3) 3点 ※【指定語句】 家内工業 労働力 2つ全て 下線付きで使用

繊維工業には豊富な労働力を必要とするが、日本海側では冬季の積雪による農閑期に家内工業として繊維品を製造した伝統を持つ。(2行)

【加点ポイント】

① (日本海側の特徴) 積雪が多い/豪雪地帯である →1点

② (歴史的背景) 農閑期の家内工業が発達/冬季の副業として家内工業が発達 →1点

③ (繊維工業の特徴) 豊富な労働力を必要とする/冬季の余剰労働力を利用した →1点

(4) 3点

コスト削減を図った製造拠点の海外移転が全国で進む中、人件費や地価が比較的安価な日本海側に労働集約的製造拠点が残存した。(2行)

【加点ポイント】

① (国内では) 製造業の海外移転が進んだ/産業の空洞化が進んだ/製造業出荷額が減少した →1点

② (日本海側では) 製造拠点が残存した/工場の海外移転が少なかった →1点

③ (②の理由) 人件費が安価/地価が安価/製造コストが安価 →1点

(5) 3点

電子部品工業は国際分業された製造工程の一部であり、多国籍企業は経営効率化のため適地を求めて設置と撤退を繰り返す。撤退する工場に雇用を依存してきた地域経済は、きわめて不安定となる。(3行)

【加点ポイント】

① (電子部品工業の特徴) 国際分業が多い/多国籍企業の工場が多い →1点

② (①により) 適地を求めて設置と撤退を繰り返す/製造拠点の移動が多い →1点

③ (地域経済への影響) (工場撤退により) 地域経済が不安定になる/失業者が増える
/ 税収が減少する/経済活動が不活発になる →1点

設問B

(1) 1点 (完答)

①－a ②－c ③－b

(2) 1点

COVID-19の蔓延に伴う渡航制限や移動自粛の影響による。(1行)

【加点ポイント】

① COVID-19／新型コロナウイルス／コロナ感染症／コロナ の影響 →1点

(3) 3点

②ではスキーヤーが雪質や環境などを求めて冬季に居留し、③では技能実習生などの労働者が高原野菜を収穫する夏季に就労する。(2行)

【加点ポイント】(※(1)の可否は問わない)

① (外国人数の季節性について) ②は冬季, ③は夏季に多くなる →1点

② (②の市町村の居留目的) スキーヤー／ウインタースポーツ／スキー場の就業者 →1点

③ (③の市町村の居留目的) 高原野菜の収穫／農業の技能実習生 →1点

(4) 3点

リーマンショックや震災の影響でブラジルへの帰国者が増え、外国人向け商店・学校などの経営が縮小し生活の利便性が低下した。(2行)

【加点ポイント】(※(1)の可否は問わない)

① (大きく減少した外国人として) ブラジル人 →1点

② (①の理由) リーマンショック／震災(東日本大震災)／不況による雇用減 →1点

③ (減少の影響) 外国人向け商店・学校などの経営が縮小／ブラジル人の生活利便性が低下／コミュニティ(地域)の衰退／生活環境・住環境の悪化／在留外国人の孤立／人手の減少により人件費の上昇／深刻な労働力不足／など →1点